【参考資料3】

(1) 償却資産申告書(償却資産課税台帳)の記入例

第二十六号様式

(提出用)

受付印

令和　6　年　1　月　12　日
富田林市長　様

令和　6　年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

※所有者コード
○○○○○○○○

所有者	1 (ふりがな) 住所又は納税通知書送達先	〒584 － 8511 ① とんだばやししときわちょう 富田林市常盤町1番1号 (電話0721-25－1000 FAX0721-20-1003)	3	個人番号又は法人番号	③
	2 (ふりがな) 氏名	かぶしきがいしゃとんだばやし ② 株式会社とんだばやし 代表取締役　富田林　太郎 (屋号　とんだばやし◎◎　)	4	事業種目(資本金等の額)	車両ブレーキ製造業 (　10④百万円　)
	法人にあってはその名称及び代表者の氏名		5	事業開始年月	⑤ 昭和33　年　3　月
			6	この申告に応答する者の係及び氏名	経理部　常盤　花子 (電話 0721-××-○○○○) ⑥
			7	税理士等の氏名	富田林　町子 (電話 0721-××-○○○○) ⑦

8 短縮耐用年数の承認	⑧ 有・(無)
9 増加償却の届出	⑨ 有・(無)
10 非課税該当資産	⑩ 有・(無)
11 課税標準の特例	⑪ 有・(無)
12 特別償却又は圧縮記帳	⑫ 有・(無)
13 税務会計上の償却方法	(定率法)・定額法 ⑬
14 青色申告	(有)・無 ⑭

資産の種類	取得価額 前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計((イ)－(ロ)＋(ハ)) (ニ)
1 構築物	3,260,500	0	0	3,260,500
2 機械及び装置	7,101,612	1,412,728	13,691,044	19,379,928
3 船舶	⑲	⑳	㉑	㉒
4 航空機				
5 車両及び運搬具	4,501,000	800,000	0	3,701,000
6 工具、器具及び備品	918,210	12,300	450,000	1,355,910
7 合計	15,781,322	2,225,028	14,141,044	27,697,338

資産の種類	評価額(ホ)	※決定価格(ヘ)	※課税標準額(ト)
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶	㉓	㉔	㉕
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
① 常盤町○-○
(②) 山中田町○丁目○－○ ⑮
③ 寺池台○丁目○－○

16 借用資産 (有・無)　貸主の名称等 (株)○○リース、大阪市◎◎区、06-△△△△－△△△△ ⑯

17 事業所用家屋の所有区分　自己所有・(借家) ⑰

18 備考(添付書類等)
令和5年6月30日　住所変更 ⑱

(受付処理欄)

控	□ 窓口　□ なし □ 返送　／(所有者・税理士)		
内容	□ 増減なし □ 増減あり	リスト	□ 休業　□ 0申 □ 廃業　□ 特例
区分	□ 一般 (　㉖　) □ 電算 (　　)		
パンチ	□ 増加　□ 減少　□ ダイレクト		
受付簿		確認	過年更正

※この申告書は、複写になっていませんので、提出用と控用それぞれに記入するか、提出用をコピーして控えとしてください。
※こちらの様式は、若干変更されている可能性がありますが、内容に変更はありません。

欄	記入の仕方	留意事項
申告年月日	申告書を提出する年月日を記入してください。	
所有者コード	納税通知書の番号です。印字がない場合は、記入する必要はありません。	
①	**印字された住所を確認し、電話番号を記入してください。** FAXをお持ちの場合は、FAX番号も記入してください。	印字した情報に誤りがある場合や変更・訂正のある場合は赤字で二重線を引き訂正してください。 **住所と納税通知書の送付先が違う場合は明記してください。**
②	**個人事業主の方は、氏名、ふりがなを確認してください。** 法人の場合は、名称を確認し代表者名を記入してください。	
③	個人事業主の場合は個人番号を、法人の場合は法人番号を記入してください。(個人番号は12桁・法人番号は13桁です。)	**本人確認資料(マイナンバー確認資料+身元確認資料)の写しを提出してください。** ※eLTAX(電子申告)による申告、または法人番号を記載した申告書を提出していただく場合は、本人確認資料の添付は不要です。
④	業種を具体的に記入してください。(例)○○の製造業・○○の加工業など 法人の場合、( )内に資本金等の額を記入してください。	複数の事業を行う場合は、主たる事業種目をお書きください。
⑤	富田林市内で事業を開始した年月を記入してください。	
⑥	この申告に対して応答する方の所属と氏名、電話番号を記入してください。	**電話番号には必ず市外局番をつけてください。**
⑦	本年度の償却資産の申告を税理士に委託された場合は、税理士の氏名、電話番号を記入してください。	
⑧～⑭	それぞれの該当する方を○で囲んでください。	
⑮	富田林市内における償却資産の所在地を記入してください。資産の所在地が2か所以上に分かれている場合は、その主たる所在地の番号を○で囲んでください。	

欄	記入の仕方	留意事項
⑯	借用資産の有無について○で囲んでください。 **「有」の場合、貸主の名称・住所・電話番号を記入してください。ただし、この場合の、借用資産は、土地と家屋以外のリース資産です。**	
⑰	該当する方を○で囲んでください。	
⑱	次のような事項を記入してください。 ◎「耐用年数の短縮の承認通知書」「増加償却の届出書」の写し等、添付書類の名称 ◎納税管理人を定めている場合は、その氏名、住所 ◎廃業・休業・事業所移転などの場合、その事由と年月日 ◎資産の増加や減少がない場合「増減なし」 ◎該当する資産がない場合「資産なし」	
⑲	初めての方以外は、印字してあります。	昨年度の申告書の(ニ)の欄の額と同じです。
⑳	前年中(R5.1.2～R6.1.1)に減少した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記入してください。**(前年前に減少した資産の申告忘れ分も含めてください。)**	**種類別明細書(減少用)の取得価額の合計額と同じになっていることをお確かめください。**
㉑	前年中(R5.1.2～R6.1.1)に**増加**した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記入してください。**(前年前に増加した資産の申告忘れ分も含めてください。)**	**種類別明細書(増加用)の取得価額の合計額と同じになっていることをお確かめください。**
㉒	(イ)－(ロ)＋(ハ)によって算出した取得価額の合計額を資産の種類別に記入してください。	
㉓ ～ ㉕	記入の必要はありません。ただし、自社の電算処理により全資産申告を行う場合は、記入をお願いします。	
㉖	**受付処理欄のため、記入の必要はありません。**	

(2)種類別明細書(増加資産用)の記入例

★令和6年1月1日現在所有している資産と今回送付した「令和5年度種類別明細書」に印字されている資産とを比べ、増加した資産を記入してください。
これまでに増加の申告を忘れていたものがあれば、その資産も記入してください。
★この用紙は、感圧式の3枚複写です。強めに記入してください。上から1枚目(提出用)と2枚目(提出用)を提出して、3枚目(控用)はご本人様の控えとしてください。

令和 6 年度 ①

※ 所有者コード	種類別明細書(増加資産用)	所有者名	1 枚のうち 1 枚目
② ○○○○○○○○		③ 株式会社とんだばやし	④

第二十六号様式別表一(提出用)

行番号	⑤ 資産の種類	資産コード ⑥	資産の名称等 ⑦	⑧ 数量	⑨ 取得年月 年号	年	月	⑩ 取得価額	⑪ 耐用年数	⑫ 減価償却残存率	⑬ 価格	※⑭ 課税標準の特例 率	コード	※⑮ 課税標準額	⑯ 増加事由	⑰ 摘要
01	2	9	ないめんじどうけんさくばん	1	4	27	3	8,720,360	10	0.					1・(2)・3・4	
02	2	10	装甲クレーン20T	1	4	14	11	3,845,600	10	0.					1・2・(3)・4	
03	2	11	ベルトコンベア	3	4	14	2	1,125,084	10	0.					1・2・(3)・4	R 5.6 受入れ
04	2	12	太陽光発電設備	1	5	4	5	12,400,000	17	0.					(1)・2・3・4	前年度申告もれ
05	6	13	パーソナルコンピュータ	1	5	5	8	450,000	4	0.					(1)・2・3・4	
06										0.					1・2・3・4	
07										0.					1・2・3・4	
08										0.					1・2・3・4	
09										0.					1・2・3・4	
10										0.					1・2・3・4	
11										0.					1・2・3・4	
12										0.					1・2・3・4	
13										0.					1・2・3・4	
14										0.					1・2・3・4	
15										0.					1・2・3・4	
16										0.					1・2・3・4	
17										0.					1・2・3・4	
18										0.					1・2・3・4	
			小計	7				26,541,044								

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印をつけてください

欄	記入の仕方	留意事項
①	申告の年度を記入してください	
②	償却資産申告書の所有者コード欄の番号を記入してください。	初めて申告される方は、記入不要です。
③	氏名または名称を記入してください。	
④	種類別明細書(増加資産・全資産用)について、**2枚のうちの1枚目**というようにページ数を付してください。	
⑤	右の区分を参考にして、資産の種類に対応する数字(1～6)を記入してください。	**1.構築物 2.機械及び装置 3.船舶 4.航空機 5.車両及び運搬具 6.工具、器具及び備品**
⑥	資産コードは、資産の種類ごとに既に申告されている資産のコードの続き番号になるように番号を付してください。	**初めて申告される方は、資産の種類ごとに1から番号を付してください。**
⑦	**ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字・数字で記入してください。**	40文字以内にまとめてください。
⑧	資産の数量を記入してください。数量を特定できないものは、「1」としてください。	形式・能力等が同一でも、**取得年月や取得価額が異なるものは分けて**記入してください。
⑨	右の区分を参考にして、資産を取得した年号及び年月を記入してください。	**1.明治　2.大正 3.昭和　4.平成 5.令和**

欄	記入の仕方	留意事項
⑩	当該資産を取得するために支出した金額又は通常支出すべき金額(付帯費を含む)を記入してください。**圧縮記帳については償却資産の評価上認められていませんので、当該圧縮を含めた実際の取得価額を記入してください。**	取得価額には当該償却資産の引取り運賃、荷役費、運送保険、購入手数料、関税、据付費その他当該償却資産を事業の用に供するために直接要した費用も含みます。
⑪	減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)別表第1、第2、第5、第6に掲げる耐用年数を記入してください。中古資産について見積耐用年数によっている場合はその年数を、国税局長の承認を得て短縮耐用年数によっている場合は、その年数を記入してください。	**短縮耐用年数を適用している場合は、必ず「耐用年数の短縮の承認通知書」の写しを添付してください。**
⑫～⑮	記入の必要はありません。ただし、電算処理により全資産申告を行う場合は、記入をお願いします。	
⑯	該当する増加事由の番号を必ず○で囲んでください。	**1.新品取得 2.中古品取得 3.移動による受入れ 4.その他**
⑰	次のような事項を記入してください。 ◎課税標準額の特例がある資産についてその適用の条項(例:地方税法第349条の3第1項) ◎耐用年数の変更があった場合その旨の表示 ◎短縮耐用年数を適用している資産、増加償却を行っている資産についてはその旨の表示 ◎その他価額の決定にあたって必要な事項	**「前年度申告もれ」の場合その旨を記入してください。「移動による受入れ」の場合、移動した年月を記入してください。**

(3)種類別明細書(減少資産用)の記入例

★令和6年1月1日現在所有している資産と今回送付した「令和5年度種類別明細書」に印字されている資産とを比べ、減少した資産を記入してください。
これまでに減少の申告を忘れていたものがあれば、その資産も記入してください。
★この用紙は、感圧式の3枚複写です。強めに記入してください。上から1枚目(提出用)と2枚目(提出用)を提出して、3枚目(控用)はご本人様の控えとしてください。

令和　6　年度 ①

※ 所有者コード ②○○○○○○○○

種類別明細書(減少資産用)

③ 所有者名 株式会社とんだばやし

1 枚のうち 1 ④ 枚目

第二十六号様式別表二(提出用)

行番号	資産種類 ⑤	抹消コード ⑥	資産の名称等 ⑦	数量 ⑧	取得年月 年号 ⑨	年	月	取得価額 ⑩	耐用年数 ⑪	償却率 ⑫	減少の事由及び区分 1売却 2滅失 3移動 4その他 ⑬	1全部 2一部 ⑭	摘要 ⑮
01	2	5	コンプレッサー6HP	1	4	17	4	1,001,700	10	18	1・2・3・4	1・2	
02	2	7	ベルトコンベア	4	4	15	2	411,028	10	16	1・2・3・4	1・2	
03	5	1	フォークリフト	1	3	62	12	800,000	4	63	1・2・3・4	1・2	
04	6	5	応接セット	1	4	3	11	12,300	5	3	1・2・3・4	1・2	
05											1・2・3・4	1・2	
06											1・2・3・4	1・2	
07											1・2・3・4	1・2	
08											1・2・3・4	1・2	
09											1・2・3・4	1・2	
10											1・2・3・4	1・2	
11											1・2・3・4	1・2	
12											1・2・3・4	1・2	
13											1・2・3・4	1・2	
14											1・2・3・4	1・2	
15											1・2・3・4	1・2	
16											1・2・3・4	1・2	
17											1・2・3・4	1・2	
18											1・2・3・4	1・2	
			小計	7				2,225,028					

欄	記入の仕方	留意事項
①	申告書の年度を記入してください。	
②	償却資産申告書の所有者コード欄の番号を記入してください。	
③	氏名または名称を記入してください。	
④	種類別明細書(減少資産用)について、**2枚のうちの1枚目**というようにページ数を付してください。	
⑤⑥⑦⑨⑪	同封してある「令和5年度種類別明細書」をご覧になって、減少した資産を記入してください。なお、「抹消コード」は、「令和5年度種類別明細書」の「資産コード」と同じです。	**ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字・数字で記入してください。**
⑧	減少した数量を記入してください。(数量を特定できないものは「1」と記入してください。)	
⑩	減少した資産の**当初の取得価額**を記入してください。	**資産の一部が減少した場合は、その資産の当初取得価額全額を記入してください。残存分は、新たに増加資産として申告してください。**

欄	記入の仕方	留意事項
⑫	その資産について、最初に申告した年度を記入してください。	
⑬	該当する番号を〇で囲んでください。	**1.売却　2.滅失 3.移動　4.その他**
⑭	該当する番号を〇で囲んでください。	**1.全部　2.一部**
⑮	次のような事項を記入してください。 **◎一部減少で、当初数量5、取得価額30万円(単価6万円)のうち数量2を処分した場合は、「当初取得価額30万円のうち12万円減少」と記入してください。** ◎その他、当該資産が減少したことについて必要な事項	